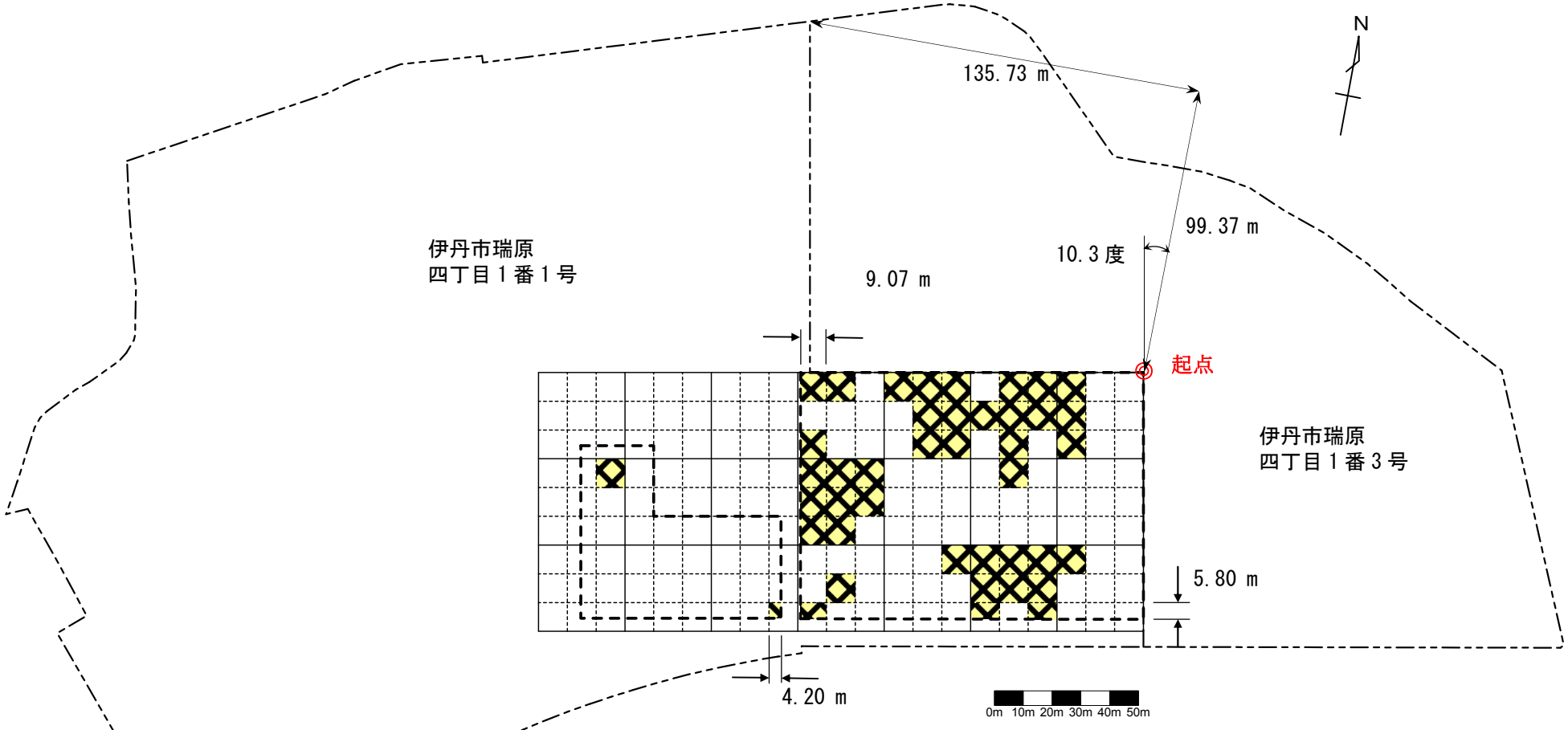
＜指定区域概要＞

| | |
|---|---|
| 形質変更時要届出区域の概況 | 工場 |
| 調査対象物質 | 土壌汚染対策法に定める特定有害物質全 26 種 |
| 指定基準超過物質 | トリクロロエチレン（溶出量）、鉛及びその化合物（溶出量及び含有量）、砒素及びその化合物（溶出量）、ふっ素及びその化合物（溶出量） |
| 検出最大濃度 | トリクロロエチレン（溶出量：0.3mg/l）<br>鉛及びその化合物（含有量：440mg/kg）<br>鉛及びその化合物（溶出量：0.044mg/l）<br>砒素及びその化合物（溶出量：0.058mg/l）<br>ふっ素及びその化合物（溶出量：6.5mg/l） |
| 基準値 | トリクロロエチレン（溶出量：0.03mg/l）<br>鉛及びその化合物（含有量：150mg/kg）<br>鉛及びその化合物（溶出量：0.01mg/l）<br>砒素及びその化合物（溶出量：0.01mg/l）<br>ふっ素及びその化合物（溶出量：0.8mg/l） |
| 告示日 | 平成 28 年４月 12 日　告示第 458 号（指定）<br>平成 30 年８月 28 日　告示第 780 号（指定） |
| 人への健康影響について | 周辺地域は地下水が一般的に常態としてそのまま飲用されていると認められず、上水道が敷設されていることから、人への健康影響のおそれは無い。<br>工場敷地内であり一般の者が立ち入ることはなく、人への健康影響のおそれは無い。 |

# 周辺の地図

この地図は、国土地理院発行の電子国土地形図（伊丹）を使用したものです。

# 形質変更時要届出区域の図面




【起点】
起点は伊丹市瑞原四丁目１番１号の最北端から
東に 135.73m、南に 99.37mの地点に設定

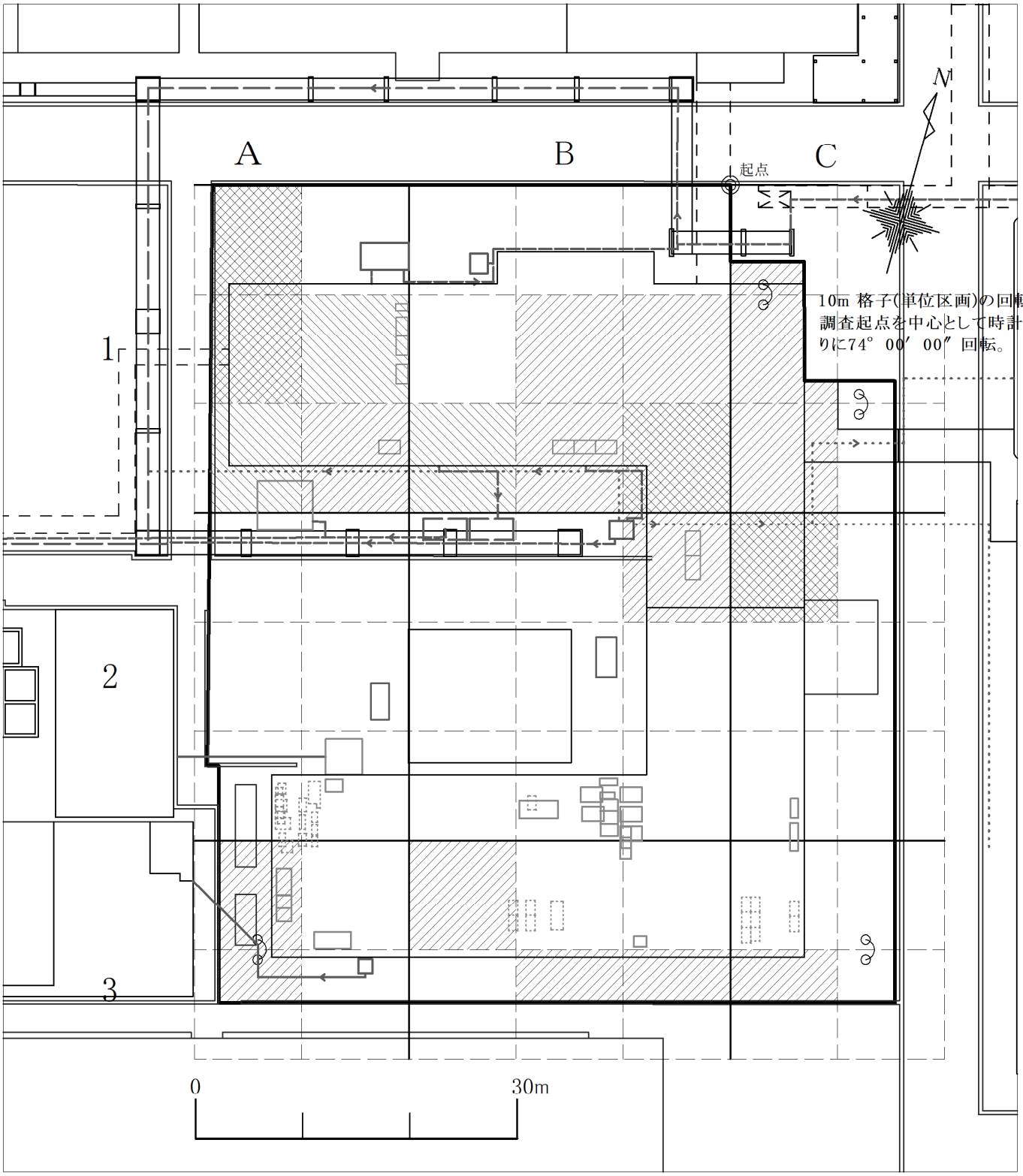
【格子の回転角度】
10.3 度

【形質変更時要届出区域】
3946.47 ㎡

【凡　例】
敷地境界
調査対象範囲
10m 格子
30m 格子

出典：国土地理院　地理院地図

形質変更範囲広域図（形質変更範囲：□）




凡　例

〔共通〕

：形質変更範囲

：地下配管

：地上または架空配管

〔区画など〕

A　位置番号

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 1 | 2 | 3 |
| 1 | 4 | 5 | 6 |
| | 7 | 8 | 9 |

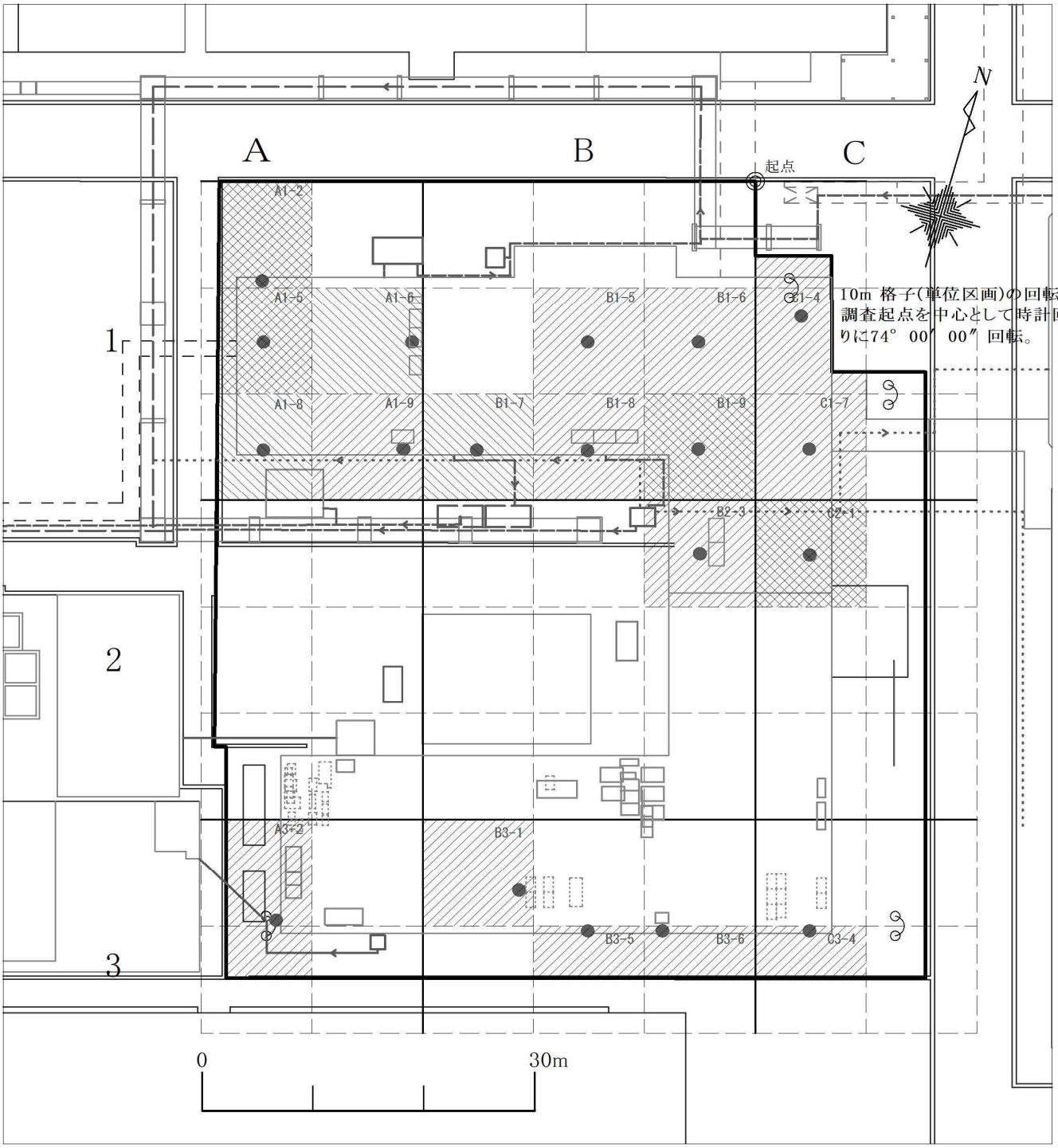
区画の統合

〔基準不適合〕

ふっ素溶出量

砒素溶出量

形質変更時要届出区域




凡　例

| 〔共通〕 | 〔区画など〕 | 〔基準不適合〕 | 〔調査対象物質〕 |
|---|---|---|---|
| ：形質変更範囲<br>：ふっ素含有排水（地下配管）<br>：ふっ素含有排水（地上または架空配管） | 位置番号<br>A<br>1 2 3<br>1 4 5 6<br>7 8 9<br>区画の統合 | ふっ素溶出量 基準0.8mg.L以下<br>砒素溶出量 基準0.01mg.L以下 | 土壌採取地点（基準不適合採取地点） |

基準不適合区画試料採取地点図